

2022年、オランダはスマートで持続可能な未来に貢献する外国からの直接投資を歓迎

<英語版オリジナルサイトは[こちらから](#)>

持続可能性を創造し、世界の社会的課題解決を主導する国のひとつとなるため
オランダはこれまで以上に革新的で、堅固な国となることを目指しています
「インベスト・イン・オランダ」ネットワークはこの目標に共感し
ともに発展を志す企業を支援します



オランダの外務省と経済・気候政策省から外国企業の支援を委託された「[インベスト・イン・オランダ](#)」ネットワークは、2022年、327件の外国企業による投資プロジェクトを支援しました。支援対象は主に、持続可能な経済成長とオランダのエコシステムの強化に貢献するプロジェクトです。

[経済・気候政策省の大臣](#) Micky Adriaansens (ミッキー・アドリアンセンス) は、「オランダ経済にとって外国企業は重要です。オランダ内の4分の1以上の取引がそこで行われているからです。また、外国企業による事業部門での雇用は20%に及びます。私は外国企業を心から歓迎しています。彼らが私たちの経済をより強く、より革新的で、より持続可能なものにすることができるのであれば尚更です」と述べています。

影響力あるソリューションの創造

オランダ経済・気候政策省 企業誘致局 (NFIA) の局長であり、「インベスト・イン・オランダ」ネットワークの議長である Hilde van der Meer (ヒルデ・ファン・デル・メール) は次のように述べています。「私たち人類が直面する課題に対し、世界中の企業が影響力あるソリューションの開発と生産に注力しています。こうした企業を積極的にオランダへ誘致し、支援することは、私たちにとって自国の経済強化にもつながります。このビジョンに基づき、「インベスト・イン・オランダ」ネットワークとしても、持続可能性、イノベーション、デジタル化の分野で業界に貢献する外国企業へ前向きにアプローチし、協力することに重点を置いています。」

2022年にオランダを選び、既存のエコシステムを強化した企業には、米国を拠点とする [Viz.ai](#) やフィンランドの [Neste](#) などがあります。Viz.aiは、ライフサイエンス&ヘルスケアセクターにおいて、革新的なデジタルツールを開発する画期的企業で、オランダのヘルスケアを改善に導きます。世界でも有数の持続可能なディーゼル燃料と航空機燃料の生産者である Nestle は、循環型経済への転換を加速させ、気候変動の緩和に貢献しています。

投資増加傾向：研究開発とエネルギー部門

「インベスト・イン・オランダ」ネットワークが、2022年に支援した、327件の外国企業による投資プロジェクトには、オランダ進出（新拠点設立）以外にも、オランダ国内で既に展開している事業の拡大もあります。これらのうち上位5つのセクターは次のとおりです。

1. [IT&ICT](#) (67)
2. [ハイテクシステム&マテリアル](#) (56)
3. [ライフサイエンス&ヘルスケア](#) (32)
4. [アグリフード](#) (29)
5. [エネルギー](#) (23)

注目に値するのは、エネルギー部門の投資プロジェクト数の増加です(2021年の14件と比較して+9件)。研究開発活動を伴うプロジェクトの数についても、数年前から増加傾向が見られました(2021年の39プロジェクトと比較して2022年には+11件の計50プロジェクト)。2022年にオランダに投資した外国企業のうち、32%が欧州から、30%が北米・南米から、29%がアジアからであり、9%はその他の地域から来ています。

2023年4月20日